

平成19年2月15日

報道機関各位

東 北 大 学

魯迅先生と藤野巖九郎先生の胸像の事前公開について

このことについて、福井県あわら市から藤野巖九郎先生の胸像、北京魯迅博物館から魯迅先生の胸像を寄贈いただけることとなり、2月20日（火）に魯迅先生の胸像が到着する予定となっております。

つきましては、すでに東北大学に到着している藤野先生の胸像と合わせて報道関係者の皆様に下記のとおり公開しますので、お知らせいたします。

また、当日は北京魯迅博物館の陳馨研究員が、魯迅の胸像の作成経緯や銘文、輸送のエピソード、新装なった魯迅博物館での日本関連の展示などについてご質問を受けます。東北大学からは大西 仁副学長（百周年記念事業担当）、東北大学魯迅研究プロジェクト関係者が出席し、魯迅先生関連の東北大学での取り組みについて紹介します。

記

日 時 2月20日（火）17時から

場 所 東北大学大学院経済学研究科大会議室（2階）

仙台市青葉区川内27-1

<参考> 魯迅先生は1904年から1906年にかけて、東北大学医学部の前身である仙台医学専門学校で医学を学びました。この留学期間中に、当時解剖学を担当していた藤野先生から、先生の講義ノートに関する懇切丁寧な添削指導を受けることになりました。1906年3月、魯迅先生は、志を医学から文芸に転じ、仙台を離れることとなります。別離の際に藤野先生は魯迅先生に対して、「謹呈 周君/惜別 藤野」（魯迅の本名は周樹人）と裏書きした自身の肖像写真を贈ったのでした。二人のこの師弟愛あふれる交流は、その後魯迅先生によって、回想的小説『藤野先生』として紹介されることとなります。

2006年は、魯迅先生が藤野先生から「惜別」写真を贈られてちょうど百年に当たることから、福井県あわら市と北京魯迅博物館は、この故事を記念して、胸像の交換をすることになり、同時に同一の胸像を東北大学に寄贈して頂けることになったものです。本年2007年は、東北大学が創立されて百年の節目の年に当たります。このお申し出は、誠に時宜にかなった意義深いご高配と受け止めさせて頂き、二体の胸像は、東北大学の創設を飾った藤野先生と魯迅先生との師弟愛あふれる交流をとこしえに記念し、立ち返るべき伝統を体現するモニュメントとして大学構内に設置させて頂くこととしております。

担当 東北大学総務部百周年記念事業室
東北大学経済学研究科庶務係

電話217-5059・5905
電話795-6263・6264